

主要産地における平成26年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月25日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成26年6月25日)

道府県	区分	生育状況等	
		育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
北海道	(生育)	<p>(全道) 6月前半は気温が高く推移し、生育も順調に進んだ。6月初めまでは水不足の地域があったが、後に全道的に解消した。 (北海道農政部 6月15日現在)</p> <p>(空知) 6月上旬の高湿多雨により、分けつが良好で生育は進んでいる。(空知総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調に進んでいる。(石狩総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(後志) 平年より2日早く生育している。(後志総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(胆振) 好天により、生育はやや早い。(胆振総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(日高) 生育はやや早く推移している。(日高総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(釧路) 生育は平年よりやや早く推移している。(釧路総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(阿伊努) 生育は順調であるが、日照不足の影響が早くなる。(稚山総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(上川) 生育は、平年より早く推移している。(上川総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(留萌) 好天により分けつが進み生育は旺盛。(留萌振興局 6月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並み。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)</p>	<p>・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イネドロオミシの発生量はやや少、フタオビコヤガの発生量は平年並の予報 (北海道病害虫防除所 5月30日公表)</p>
青森	生育	<p>・生育は、概ね平年並から上回った。(6月20日現在)。(青森県 6月24日付)</p> <p>・つががロマン(黒石) 草丈は平年より0.7cm長く、市当たり葉数は平年より33本多く、葉齢は7.7葉で平年並み。(6月20日現在)</p> <p>・まっしぐら(十和田) 草丈は平年より4.0cm長く、市当たり葉数は平年より61本少なく、葉齢は平年より0.1葉少ない。(6月20日現在)</p> <p>(青森県産産技術センター-農林総合研究所 6月20日付)</p>	<p>・6月のイネミズゾウムシの発生量はやや少ない、イネドロオミシの発生量は平年並の予報 (青森県病害虫防除所 5月30日公表)</p>
岩手	(生育)	<p>・県全体の生育は草丈が平年より6.5cm長く、葉数は平年より多い(平年比126%)、葉齢は平年より0.5葉上回り、平年より2~3日程度進んでいる。(6月16日現在) (岩手県中央農業改良普及センター-県域普及グループ 6月17日付)</p> <p>・北上(農業研究センター)では、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」とも草丈、葉齢、葉数は平年を上回っている。「ひとめぼれ」では、1個体あたり3~4本の分けつが発生している。生育は平年より良好。穀米(県北農業研究所)の「いわてっこ」は草丈、葉齢、葉数とも平年を上回り、生育は平年より良好。(岩手県農業研究センター他 6月17日付)</p>	<p>・6月4日~10日の調査では、雑種用取留圃にもいもち病が平年より多く発生。急激に好湿な条件が続いている。(盛岡県病害虫防除所 6月11日付)</p> <p>・5月のばか苗病の発生量は少、細菌性苗木枯病の発生量は平年並、苗木枯病の発生量はやや多、苗いもち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや少、イネドロオミシの発生量は少の予報 (岩手県病害虫防除所 4月30日公表)</p> <p>・アカスジカミカメ越冬世代幼虫の孵化盛期は平年より早まる予想 (岩手県病害虫防除所 5月16日付)</p>
宮城	(生育)	<p>(県全体) 気温が平年より高く推移していることから、水稻の生育は、平年に比べて2~4日早まっている。(宮城県 6月20日現在)</p> <p>(大河原) 平年と比較して草丈はやや長め、葉数はほぼ平年並み、葉数(生育の早晩)はやや早め。 (大田原) 草丈は平年より多く、葉数は平年より多い。(大田原農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(亶理) 全ての調査圃で生育を上回っている。平年と比べて草丈・葉数ともに多め、葉の進展は順調。葉色の上昇も早く、土壌窒素の発生も早い傾向に。(亶理農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(仙台) 「ひとめぼれ」「ササニシキ」とも、草丈、葉数、葉数が平年を上回る生育状況 (仙台農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(大崎) 草丈、葉数、葉数は平年より多く、葉色は濃い状況で、生育は順調。重複の生育は草丈・葉数が少ない圃場はあるが分けつは順調 (大崎農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(美里) 平年より葉数が多く、生育が進んでいる。(美里農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(栗原) 生育は平年より進んでいる。田植後好天に恵まれたことで、分けつ発生が平年より早く進み、葉数が多くなった。(栗原農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(巻米) 草丈は平年より長く、葉数は多い。葉色はやや少ない傾向にある。田植後の追肥や低温等で遅れていない圃場でも、生育の遅れを取り戻しつつある。(巻米農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(石巻) 平年より葉数が多く、草丈は良い傾向。葉数は調査圃平均より0.5葉多く、日照に除害して3日程度進んでいる。葉数はばらつきはあるが平年並で、葉色は特にササニシキで平年より濃い傾向。重複栽培は5月の気温が高めで推移したことから出芽は例年より良好で、初期生育も順調 (石巻農業改良普及センター 6月10日現在)</p> <p>(本吉) 生育調査圃によって生育のばらつきあり。気仙沼市(ひとめぼれ)では、草丈はやや小さく、葉数はやや少なく、葉数はやや多い。南三陸市(ササニシキ)では、草丈はやや長く、葉数は平年並、葉数は少なめ。(本吉農業改良普及センター 6月10日現在)</p>	<p>・7月上旬までの葉いもちの発生量はやや多く、コバネイナゴもやや多い予報 (宮城県病害虫防除所 6月23日公表)</p> <p>・葉いもちの発生量は平年並、イネドロオミシも平年並の予報 (宮城県病害虫防除所 6月9日公表)</p> <p>・イネミズゾウムシの発生量はやや多 (宮城県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
秋田	(生育)	<p>(鹿角) 普通移植栽培のあきたこまちは生育状況は、好天高温により生育は順調。直播栽培(淡雪こまち)も生育は順調(6月13日付)</p> <p>(北秋田) 6月10日現在の生育(好天、あきたこまち)は、平年に比べてやや早く進んでいる。(6月12日付)</p> <p>(山本) 6月10日現在の生育は平年より2日程度早い。(6月13日付)</p> <p>(秋田) 生育は、大きな病害虫被害も見られず、概ね順調。(6月20日付)</p> <p>(由利) 分けつが順調に発生し、生育は順調。田植時期や地域によって、生育に差がみられる。(6月20日付)</p> <p>(仙北) 6月10日現在の水稻の生育は平年に比べ進んでいる(6月13日付)</p> <p>(平川) 水稻の生育は草丈、葉数、葉数とも順調に推移している。(6月20日付)</p> <p>(雄勝) 草丈平年比103%、葉数平年比110%、葉数平年並+3となっている。(6月12日付)</p> <p>(秋田県農林政策課 6月20日)</p>	<p>・6月の葉いもちの感染量はやや少ない予報。 ・イネミズゾウムシ(イネヒメハモグリバエ)とフタオビコヤガ(イネアオムシ)の発生量は多く、斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予報。(秋田県病害虫防除所 5月29日公表)</p> <p>・イネヒメハモグリバエの圃場産卵数は多く要注意 (秋田県病害虫防除所 5月21日公表)</p>
山形	(生育)	<p>・6月20日現在の生育は、葉数過剰傾向で、生育進捗は依然として平年より早い状況。 平年並「はえぬき」の生育は、草丈・葉色は平年並みで、葉数はやや多く、葉数は多い旺盛な生育状況。 「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈は平年並み、葉数は多く、葉数はやや多く、葉色は平年並みの順調な生育概況。 (山形の米日本-推進運動本部 6月20日付)</p> <p>(村山) 6月20日現在の「つや姫」の生育は順調で、葉数は目標を確保した圃場も見られるが、田植日等により差がある。草丈は短く、葉色はほぼ指挿並。(村山総合支庁 6月20日)</p> <p>(置戸) 6月20日現在の生育は、平年並み~やや長い、葉数、多い、葉数・平年より3日程度早い、葉色・平年並み~やや濃い状況。乾土効果の影響もあり、葉色が濃く、生育旺盛な圃場となっている。(置戸総合支庁 6月20日)</p> <p>(山形) 6月20日現在の生育は、平年並み~やや長い、葉数、多い、葉数・平年より3日程度早い、葉色・平年並み~やや濃い状況。 (最上) 移殖の好天による生育は良好で、6月10日の調査では稲の生育は平年よりやや進んでいる。 (最上総合支庁 6月16日付)</p>	<p>・7月の発生量は、葉いもちと紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類はやや多い、コバネイナゴはやや少なく、フタオビコヤガ(イネアオムシ)の発生量は平年並の予報 (山形県病害虫防除所 6月25日公表)</p> <p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予報 (山形県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
福島	(生育)	<p>田植え作業は平年に比べ1日遅れたが活潑は概ね良好で、本田での初期生育は分けつの発生、草丈の伸長、主稈出葉ともに平年並から良好。直播栽培も出芽と苗立ちは良好。(福島県農林水産部 6月9日付)</p>	<p>・6月の葉いもちとイネドロオミシ発生量は平年並、イネヒメハモグリバエとイネミズゾウムシの発生量はやや少ない予報 (福島県病害虫防除所 5月30日公表)</p> <p>・6月のイネドロオミシの成虫の水田侵入盛期は平年より早く、幼虫発生時期もやや早めの予報 (福島県病害虫防除所 6月9日公表)</p>
茨城	(生育)	<p>(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は平年より6日程度進み、「コンヒカリ」は平年より4日程度進んでいる。 5月9日に移植した「コンヒカリ」の生育は平年より4日程度進んでいる。(6月9日現在)</p> <p>(龍ヶ崎市) 4月28日に移植した「あきたこまち」、「コンヒカリ」の生育は5日早い。 5月7日に移植した「あきたこまち」の生育は6日早く、「コンヒカリ」は7日進んでいる。(6月6日現在)</p> <p>(県農業総合センター-農業研究所)</p>	<p>・ヒメトビウカ第二世代幼虫の発生がやや早い状況。(茨城県病害虫防除所 6月20日公表)</p> <p>・6月のコメイガの発生量はやや多い予報 (茨城県病害虫防除所 6月2日公表)</p> <p>・本田でのイネミズゾウムシの生息数のピークは県南・県西地域では5月中旬~下旬、県北・県央・鹿行地域では5月下旬~6月上旬と予測 (茨城県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
栃木	(生育)	<p>・平年より葉数が多く草丈も長い。 ・県内全般に高温・多湿傾向であったことから、葉色はほぼ平年並であるが、草丈、葉数ともに前回調査(5月26日)より平年との差が大きくなり、生育遅延(葉色×葉数)は平年を上回っている。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。(栃木県農政部 6月11日付)</p>	<p>・6月下旬~7月下旬の葉いもち発生量、やや少ない、雑草枯病(ヒメトビウカ)の発生量は県中南部地域で多い予報。(栃木県農業環境現況センター 6月20日公表)</p> <p>・イネ雑草枯病(ヒメトビウカ)の発生量は多い予報 (栃木県農業環境現況センター 5月29日公表)</p>
埼玉	(生育)	<p>・強風による植え込み等で分けつはやや少ないが、草丈は平年並、高温により葉位の進展は進んでいる。 5月上旬に移殖されたものは強風による植え込みが見られるが、良気象により回復は早く、概ね順調な生育である。(埼玉県農林総合研究センター-水田農業研究所 6月1日現在)</p>	<p>・イネツトムシの本年の孵化最盛日は7月28日と予測。(埼玉県病害虫防除所 6月18日公表)</p> <p>・イネアオムシの本年の第2世代の孵化最盛日は、7月14日と予測。 ・6月はイネ雑草枯病(ヒメトビウカ)の多発が懸念される (埼玉県病害虫防除所 6月11日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、状況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

<p>千葉</p> <p>(生育)</p>	<p>移植時期から続く高温多湿傾向のため、生育の進みが早く、4月20日植えの「ふさおとめ」は平年より4日程度早く幼穂形成期を迎えている。梅雨入りした後は、降水量が多く、中干しにくい天候となり、草丈はやや高く、葉数は多めに推移している。 (千葉県農林水産部 6月16日現在)</p>	<p>・6月のいもち病(粟いもち)、紋枯病の発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量はやや多、イネクワカメシの発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量はやや多、セジロウカシの発生量は平年並、コバネイナゴの発生量は平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 6月11日公表)</p>
<p>新潟</p> <p>(生育)</p>	<p>・コシヒカリ、こしいぶきの生育は、地域差があるが、指標値に比べ草丈は「やや長い」、葉数は「やや多い」、葉色は「並み～やや濃い」地域が多い状況(6月19日現在)</p> <p>・コシヒカリ 県平均では指標値(理想的な生育めやす)に比べ、草丈は「やや長い」、葉数は「やや多い」、葉色は「並み～やや濃い」、生育の進みは「やや早い」状況、地域別では、新発田及び上陸で草丈が長く、葉数が多い、南魚沼は葉数が少ない状況</p> <p>・こしいぶき 県平均では指標値に比べ草丈は「やや長い」、葉数は「やや多い」、葉色は「やや濃い」、葉数の進みは「やや早い」状況 (新潟県農林水産部 6月20日付)</p> <p>(十日町) 全般的に生育は順調、分けつは近年並み、(十日町農業普及指導センター他 6月10日付)</p> <p>(長岡) 生育の進みは緩やかになり、草丈は並～やや長く、葉数は日理稼数の20%を超え、葉色は指標値並 (村上農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(新発田) 生育が3日程度遅んでおり、指標値と同様の葉数と比較すると、生育量は「やや大」(新発田農業改良普及センター 6月19日現在)</p> <p>(新潟) 平均気温が高く、日照時間が少ないことにより、草丈が伸長、葉数は指標値並となり、葉色がやや濃く生育は旺盛。 (新潟農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(新潟) 草丈、やや長、葉数、やや多、葉色、やや濃、生育の地域差・個人差が大い。 (新潟農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(巻) 草丈:指標比「やや短」、葉数:指標比「やや多」(ほ場間差大)、葉色:指標比「やや淡」 (巻農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(三条) コシヒカリの生育は指標値並、葉数はやや少ないが、適正節間内、圃場ごとの差が大い(三条農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(長岡) 5月中旬から6月上旬までの高温多湿により生育ステージは早まっている。(長岡農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(魚沼) コシヒカリの生育は、草丈は並～やや長く、葉数は並～やや少ない、葉色は並で、葉色は並～一部でやや濃い。 (魚沼農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(南魚沼) 草丈、やや長、葉数、多、葉色、濃、葉数、並～やや多(南魚沼農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(柏崎) こしいぶきの生育は、草丈が長く葉数が多い、葉数は1日程度遅んでおり、生育は指標値並から1日程度早まっている。 コシヒカリの生育は、指標値並 (柏崎農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(上越) コシヒカリの生育は、5月下旬から続く高温により、葉数多く、葉色も濃くなっており、過剰生育に注意が必要。 (上越農業普及指導センター 6月19日現在)</p> <p>(佐渡) コシヒカリの生育は、草丈は並～やや長、葉数はやや多い、生育は並、葉色はやや濃い(佐渡農業普及指導センター 6月10日現在)</p>	<p>・6月の粟いもちの発生量は少ない予報(新潟県病害虫防除所 5月30日公表)</p> <p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並の予報(新潟県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
<p>富山</p> <p>(生育)</p>	<p>(コシヒカリ) 草丈はかなり長く、葉数はやや多い。 (てんたかく) 草丈は平年並で葉数は少なく、葉齢はかなり遅い、葉色はやや濃い。 (てんたくる) 草丈は長く、葉数は平年並、葉齢は遅い、葉色はやや濃い。 (富山県農業技術 広域普及指導センター 6月17日現在)</p>	<p>・6月のいもち病(粟いもち)の発生量は平年並～やや少ない、紋枯病の発生量はやや多い、斑点米カメシ類の発生量は多い予報 (富山県農林水産総合技術センター 6月2日公表)</p> <p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は少、イネゾウムシの発生量は少の予報(富山県農林水産総合技術センター 5月1日公表)</p>
<p>石川</p> <p>(生育)</p>	<p>・葉齢展開からみた生育の遅速は、平年に比べて、コシヒカリで2日、ゆめみづほで3～6日程度早い。 ・草丈は、コシヒカリが平年比で平均115%、ゆめみづほが近年比で平均119%と、いずれも長い。 ・葉数は、コシヒカリが加賀地域で平年に比べやや少なく、能登地域が平年並、ゆめみづほは、加賀地域、能登地域で平年並。 ・葉数の増加率は平年並～やや少ない。 ・葉色は、コシヒカリ、ゆめみづほとも平年並～やや濃い圃場が多い。 (農林総合研究センター 6月18日調査)</p>	<p>・斑点米カメシ類の雑草地における発生はやや多の予報 (石川県農林総合研究センター 5月29日付)</p> <p>・イネミズゾウムシによる被害が一部で散見される (石川県農林総合研究センター 5月20日付)</p> <p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (石川県農林水産総合技術センター 4月24日公表)</p>
<p>福井</p> <p>(生育)</p>	<p>・コシヒカリは、移植では草丈は平年並み、葉数は平年より少ない傾向。直根も草丈は平年並み、葉数は平年より少ない傾向。 ・ソナエゼンセンの草丈は平年並み、葉数は前年より少なくなっている。 (水田農業レベラップ委員会技術普及部会 6月19日現在)</p>	<p>・6月の粟いもち病の発生量は平年より少、紋枯病は平年並、ニカメイガは平年より多、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオウムシとイネヒメハモグリバエは平年より少の予報(福井県農業試験場 5月29日公表)</p>
<p>長野</p> <p>(生育)</p>	<p>・豊科定点圃場では、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年より多い傾向。 ・5月下旬移植分は、葉齢～初期生育は良好、5月上旬移植の水田では、過剰分けつ気味の水田もあり。 ・5月下旬移植分では葉数不足の圃場もあるが、高温傾向のため回復する見込み。また高温による地温上昇で「ガスわき」が発生し、根の横みから分けつが抑制されている圃場も見られる。(松本農業改良普及センター 6月15日現在)</p>	<p>・5月下旬のイネミズゾウムシの被害度及び寄生虫数は平年より少なかった。また佐久地域の 一部でイネドロオウムシの成虫を確認 (長野県病害虫防除所 6月2日付)</p> <p>・気温の上昇とともに葉齢・表層刺繭の発生が徐々に目立つ (松本県農業改良普及センター 5月26日付)</p>
<p>滋賀</p> <p>(生育)</p>	<p>・生育は概ね平年並であるが、5月下旬の高温多湿により旺盛となっているところもある ・草丈は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年よりやや長、葉数は「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年よりやや多い ・葉数は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年より0.3 枚多い (滋賀県農業技術普及センター 6月5日付)</p>	<p>・粟いもちと紋枯病の発生量は平年並、イネクワカメシの発生量は少、コバネイナゴの発生量はやや少の予報 (滋賀県病害虫防除所 6月17日公表)</p> <p>・粟いもちの発生量はやや少、ニカメイガの発生量は平年並、イネドロオウムシ、イネクワカメシの発生量はやや少、コバネイナゴの発生量は平年並みの予報 (滋賀県病害虫防除所 6月3日公表)</p>
<p>兵庫</p> <p>(生育)</p>	<p>(県北) 本田での生育は順調 (県南) 帯の生育は順調 (兵庫県環境部長 6月2日付)</p>	<p>・向こう1か月は、いもち病(粟いもち)、結実枯病、ヒメトビウカはやや多、海外飛来性ワカボシ類は平年並の予報 (兵庫県病害虫防除所 6月16日公表)</p> <p>・6月は粟いもちが発生しやすいと予想される。日播地域では結実枯病が多発傾向 (兵庫県 6月2日付)</p>
<p>岡山</p> <p>(生育)</p>	<p>・6月の粟いもちの発生量はやや少、ヒメトビウカ発生量は少、結実枯病の発生量は平年並、ツマゴロコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報 (岡山県 6月5日公表)</p>	<p>・6月の粟いもちの発生量はやや少、ヒメトビウカ発生量は少、結実枯病の発生量は平年並、ツマゴロコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報 (岡山県 6月5日公表)</p>
<p>広島</p> <p>(生育)</p>	<p>6月中旬の降水量及び日照時間は平年より少ない状況で、気温は低めに推移した。 ・コシヒカリ、ひとめづめの生育は平年並 ・きぬむすめは生育はやや遅い ・ヒノヒカリの生育は平年並 (J長門大津、長門農林事務所 6月20日現在)</p>	<p>・6月の結実枯病(ヒメトビウカ)の発生量は平年並の予報 (山口県病害虫防除所 6月2日公表)</p> <p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並の予報 (山口県病害虫防除所 5月1日公表)</p>
<p>愛媛</p> <p>(田植)</p>	<p>・6月は普通期水稲の田植えの開始時期 ・高温発熱障害を回避するには、極端な早植えを避け、中生産種では6月15日以降の田植えに努める。 (愛媛県農林水産部/農林水産研究所 6月2日公表)</p>	<p>・6月のいもち病(粟いもち)発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量はやや少～並の予報(愛媛県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
<p>高知</p> <p>(生育)</p>	<p>(南国そだち 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は平年よりやや高く、葉数はほぼ平年並、葉齢(生育進度)は平年よりやや早い。 (早稲コシヒカリ 4月4日移植) 5月20日調査時の草丈は平年並み、葉数は少なく、葉齢もわずかに遅れている。葉数が少ないのは、移植直後4月上旬および5月上旬の低温の影響によるもの。 (早稲コシヒカリ 4月4日移植) 低温の影響で一時的生育は遅れていたが、その後回復し6月3日調査時の草丈は平年より高く、葉数、葉齢は平年並みに推移。 (高知県農業技術センター 6月20日付)</p>	<p>(早期水稲) いもち病の発生量は少～やや少、ツマゴロコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は少の予報 (普通期水稲) いもち病の発生量は少～やや少、イネミズゾウムシの発生量は少、ツマゴロコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は少の予報 (高知県病害虫防除所 6月3日公表)</p>

生育状況等

福岡	<p>朝倉普及指導センター管内（朝倉市、筑前町、東峰村）では5月1日～2日を中心に早期栽培つくしの田植えを終了 収穫は8月の益明けの見込（福岡県朝倉普及指導センター 5月12日付）</p>	<p>5月15日現在、海外飛来性害虫（セジロウシカ、トビイロウンカ、コブノメイガ）は見られていない（福岡県病害虫防除所 5月23日公表）</p>
熊本		<p>・6月の粟いもちの発生量は平年並みの予報 （熊本県病害虫防除所 5月30日公表）</p>
宮崎	<p>現在の生育状況は、草丈が平年より短く、茎数は平年並み、葉齢は平年並みで、生育進度は平年並み（6月3日付） 早期水稲5月29日現在の生育ステージ （県全体）活着期～分けつ前期で平年よりやや早 分けつ盛期～分けつ後期で平年並みの進度。草丈がやや低く、茎数は平年並みであり、順調に生育 （中部地区）活着期～分けつ前期で平年より3日早く、移植後の生育は概ね順調 分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。草丈は平年より5cm程短く、茎数・葉齢は平年並み （南部珂地区）分けつ前期で平年並、4月上旬の強風で葉痛みが見られたものの、好天により生育は回復基調 分けつ盛期～分けつ終期で平年より2日遅い進度。草丈は平年より3cm程低く、茎数はやや多い （児湯地区）活着期～分けつ前期で平年より1日遅いが、3月中旬頃に移植した苗は順調に分けつし始め 3月下旬に移植した苗では4月上旬の強風の影響で生育がやや遅く、葉先の黄化も見られる 分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。全体的に草丈が低い状況で、今後の天候で回復する見込み （東臼杵地区）活着期で平年並。4月上旬の強風による葉痛みにより生育はやや遅れる可能性があるが、今後天候 で回復する見込み 分けつ期で平年より3日遅い進度。草丈は低く、茎数は少ない状況 （JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」6月3日付）</p>	<p>・6月の早期水稲の粟いもちの発生量は平年並の予想 （宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月30日公表）</p>
鹿児島		<p>・6月の早期水稲のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は平年並の予報 （鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）</p>

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考				
		生産数量目標			収穫量(主食用) 25年産	作況指数 25年産
		平成26年産	前年産との比較	増減率		
全 国	夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。（気象庁 6月10日発表）			96		
北 海 道	・北海道地方の6月21日～7月20日の1か月間の平均気温、降水量、日照時間ともに、 <u>ほぼ平年並の見込み。6月上旬の後半から続いてきた、多雨・曇りの傾向は次第に収まる見込。</u> <u>（札幌管区気象台 6月19日発表）</u>	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105
青 森	・東北地方の6月21日～7月20日の1か月間は、前線や湿った気流の影響で、平年と同様に <u>曇りや雨の日が多く、平均気温、降水量、日照時間ともに、ほぼ平年並の見込み。</u> ・週別の平均気温は、1週目が平均並みか高く、2週目は平均並みか低い見込で、3～4週目は <u>ほぼ平年並みの予測。</u> <u>（仙台管区気象台 6月19日発表）</u>	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月19日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102
宮 城	・同上（仙台管区気象台 6月19日発表）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月19日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100
山 形	同上（仙台管区気象台 6月19日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102
福 島	同上（仙台管区気象台 6月19日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104
茨 城	・関東甲信地方の6月21日～7月20日の1か月間は、前線や湿った気流の影響で、降水量は <u>平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。平均気温は、ほぼ平年並みで、2週目の気温が平年並か低くなる見込。</u> <u>（気象庁 6月19日発表）</u>	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104
栃 木	同上（気象庁 6月16日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102
埼 玉	同上（気象庁 6月19日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98
千 葉	同上（気象庁 6月19日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104
新 潟	・北陸地方の6月21日～7月20日の1か月間は、前線や湿った空気の影響により、平年と同様に <u>曇りや雨の日が多く、平均気温、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込み。</u> <u>（新潟地方気象台 6月19日発表）</u>	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103
富 山	同上（新潟地方気象台 6月19日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102
石 川	同上（新潟地方気象台 6月19日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101
福 井	同上（新潟地方気象台 6月19日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102
長 野	・関東甲信地方の6月21日～7月20日の1か月間は、前線や湿った気流の影響で、降水量は <u>平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。平均気温は、ほぼ平年並みで、2週目の気温が平年並か低くなる見込。</u> <u>（気象庁 6月19日発表）</u>	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101

	気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	t	%	t	t	
滋賀	・近畿地方の6月21日～7月20日の1か月間の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か低い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 6月19日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月19日発表）					
岡山	・中国地方の6月21日～7月20日の1か月間は、前線や湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いため、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 1週目の気温は平年並、2週目は寒気の影響を受けるため、平年並か低い見込み。 （広島地方気象台 6月19日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
広島	同上（広島地方気象台 6月19日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月21日～7月20日の1か月は、前線や湿った気流の影響で、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。期間の前半は曇りや雨の日が多く、気温は平年並か低い見込み。 （福岡管区気象台 6月19日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
愛媛	・四国地方の6月14日～7月13日の1か月間は、前線や湿った気流の影響が大きく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 6月19日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
高知	同上（高松地方気象台 6月19日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月21日～7月20日の1か月は、前線や湿った気流の影響で、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。期間の前半は曇りや雨の日が多く、気温は平年並か低い見込み。 （福岡管区気象台 6月19日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
熊本	同上（福岡管区気象台 6月19日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
宮崎	・九州南部地方の6月21日～7月20日の1か月は、平年に比べ曇りや雨の日が多いため、平均気温は期間の前半は平年並か平年より低く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月19日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月19日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
		111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

平成26年度米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成25年度水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩農業改良普及センター 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道十川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌総合振興局 6月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、病害虫発生予察情報第5号6月予報(北海道病害虫防除所)、
作況調査報告6月20日現在(青森県産業技術センター 農林総合研究所 6月20日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号6月予報(青森県病害虫防除所)、
水稲の生育状況(6.16調査結果概況速報)(岩手県中央農業改良普及センター 農域グループ 6月17日)、
平成26年度水稲生育定期調査結果No.2(6月16日)(岩手県農業研究センター 技術部作物研究所・東北農業研究所作物研究室 6月17日)、
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所)、平成26年度病害虫防除速報No.4 水稲編-2(岩手県病害虫防除所)、
平成26年度水稲の生育状況について 6月20日現在(宮城県農林水産部 6月20日)、平成26年度産稲作技術情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月11日)、
平成26年度産稲作情報(第3号)(宮城県亶理農業改良普及センター 6月13日)、仙台稲作情報2014・06・11第5号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月11日)、
平成26年度産稲作技術情報第4号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月10日)、平成26年度産美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月13日)、
栗原の稲作通信(宮城県栗原農業改良普及センター 宮城県米づくり推進栗原地方本部 6月13日)、
登米地域の稲作通信第3号(宮城県登米農業改良普及センター 6月11日)、稲作情報Vol. 2(石巻農業改良普及センター 6月13日)、
稲作情報Vol. 2(本吉農業改良普及センター 6月12日)、平成26年度発生予察情報発生予報第5号(概要版)(宮城県病害虫防除所)、
生育状況の概況 6月20日現在(秋田県ホームページ)こまちチャンネルhttp://www.e-komschi.jp)、
平成26年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所)、
米づくり技術情報No3(山形の米日本一推進運動本部 6月20日)、つや姫だより第5号(山形県村山総合支庁 6月20日)、
おきたま米づくり情報No.7(山形の米日本一推進運動本部 6月20日)、つや姫だより第6号(山形の米日本一推進運動最上総合支庁 6月20日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁 6月11日)、平成26年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所)、
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所)、
主要な農作物の生育状況平成26年度第3号(福島県農林水産部 6月9日)、水稲の病害虫防除対策(6月)(福島県病害虫防除所)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月9日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月16日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月6日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月9日)、
病害虫速報No.3(茨城県病害虫防除所)、病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会)、
那珂川治水対策支部の解散について(国土交通省関東地方整備局)、
平成26年度水稲生育診断予測事業速報No. 2(早期栽培6月9日調査結果)(栃木県農政部 6月11日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター)、平成26年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター)、
平成26年度水稲の生育概況Vol.1(平成26年6月1日現在)(埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所 6月9日)、
病害虫:調査データ(埼玉県病害虫防除所 6月19日)、病害虫防除情報(埼玉県病害虫防除所 6月11日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月17日)、平成26年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター)、
水稲の生育状況と今後の管理対策第3号(新潟県農林水産部 6月20日)、6/10稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター他)、
岩船米生育速報(6月19日現在)(村上農業普及指導センター)、新発田地域水稲育成速報No.3(6月19日調査)(新発田農業普及指導センター 6月19日)、
新潟稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月19日)、水稲生育速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月20日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月19日)、FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 6月19日)、
水稲生育速報(6月19日現在)(長岡農業普及指導センター 6月19日)、管内の生育状況(6月19日現在)(魚沼農業普及指導センター 6月19日)、
南魚沼地域水稲生育速報(南魚沼農業普及指導センター 6月19日)、稲作管理情報3(柏崎農業普及指導センター 6月19日)、
水稲生育速報-コシヒカリ(上越農業普及指導センター 6月19日)、平成26年度 稲作生育速報 No2(佐渡農業普及指導センター 6月10日)、
平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所)、
TACS情報第4号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月17日)、
平成26年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月19日)、病害虫発生予報第2号(石川県)、
稲作情報No.7(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月20日)、平成26年度農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場)、
平成26年度作物技術普及情報第11号(長野県松本農業改良普及センター 6月17日)、5月下旬の水稲巡回調査結果の概要について(長野県病害虫防除所 6月2日)、
平成26年度水稲生育診断情報No.11(滋賀県農業技術振興センター 6月5日)、平成26年度病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所)、
平成26年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所)、平成26年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月2日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(岡山県)、
稲作ワンポイントアドバイス(No3)(JA 長門大津・長門農林事務所 6月20日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所)、
気象情報に基づく技術対策・作物(平成26年6月)(愛媛県 6月2日)今月の天候と農作業5月(愛媛県)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県)、
平成26年度水稲生育状況(6/6時点)(高知県農業技術センター 6月20日)、平成26年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月3日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所)、
ネットラップ及び予察灯における海外飛来性害虫の誘殺状況(5月23日)(福岡県病害虫防除所)、普及指導センター情報(福岡県朝倉普及指導センター)、
管内JAニュース(JAグループ熊本ホームページ)https://www.ja-kumamoto.or.jp)、平成26年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所)、
平成26年度宮崎県早期米産地情報(平成26年5月29日現在)(宮崎県経済連ホームページ)http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html)、
平成26年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(6月)(鹿児島県病害虫防除所)

エルニーニョ監視速報(No.261)(気象庁 地球環境・海洋部)

北海道地方ごう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方ごう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方ごう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方ごう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方ごう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方ごう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方ごう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方ごう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方ごう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)